

お茶の水女子大学ジェンダー研究所
IGS Seminar (生殖領域)

Data Reporting as Care Infrastructure

Feminist Approaches to ART Registries

ケアのインフラストラクチャーとしての 臨床データ報告

先端生殖技術(ART)の臨床実施成績の登録に対するフェミニストアプローチ

医療において、よりよい臨床の実践をめざすとき、臨床データは非常に重要といえる。本セミナーの報告者は、こうした臨床データの報告をケアのインフラストラクチャーととらえ、日本・台湾・韓国で報告されている不妊治療の臨床データ (ART Data Reporting) に焦点をあて、これらを比較して、各国のデータ収集を行う主体や結果の公表のしかたの違いとその利点・問題点を分析する。そしてフェミニストの視点から、こうしたデータが利用者の利益となる健全な生殖補助医療につながるようになるためには、なにが重要かについて言及する。



Speaker : 吳嘉苓氏 Chia-Ling Wu (National Taiwan University)

Discussant : 柘植あづみ Azumi Tsuge, (明治学院大学)

Moderator : 仙波由加里 Yukari Semba (お茶の水女子大学 IGS)

言語 : 英語 (日本語逐次通訳付き) 通訳者 : 坂井日南多 (National Taiwan University)

日時 : 2020年 7月16日 (木) 12:15~13:45

zoom オンライン開催

要事前申込・登録制: QRコードか、当研究所のHPから、
お申し込み下さい

